

## わたしのライフ&マネープラン(シナリオ)

課題：今後の自分の生活の仕方やお金の使い方について、どのようなことを考えるとよいのだろう。

導入	<p>T 1 : 今までの学習の振り返り、本日の課題、講師の紹介</p> <p>T 2 : 自己紹介</p> <p>それでは、ライフ&amp;マネープランのやり方を説明します。</p> <p>まず、机の上に配布されている、わたしのライフ&amp;マネープランと書かれたプリントと〈収入と税金〉と書かれた表、電卓を1人1つずつ準備してください。</p> <p>その他に、サイコロと(輪ゴムで束ねられた)10枚のカードがあります。このカードをイベントカードと呼びますが、それらは後で説明しますので、今はさわらないように。</p> <p>プリントの表には、20代から60代までの欄があります。</p> <p>今日は必ず20代30代の計算をしてください。</p> <p>先生が皆さんと同じ、生徒の役をし、記入していきますので、今は記入しないで、よく見ていてくださいね。</p>
展開	<p>T 2 : まずは、プリントの真ん中、今の皆さんのお金の使い方のタイプを考えましょう。3つのタイプのうち、近いものはどれですか？</p> <p>T 1 : 私は、今を楽しむタイプだと思います。</p> <p>T 2 : 次に、ライフプランを考えます。この部分をPPにしたので、電子黒板を見て下さい。ライフプランには、結婚、子ども、住居、食事、その他の5つがあります。</p> <p>まずは、結婚から</p> <p>T 1 : 私は、20代で結婚したいと考えているので、20代に○を書きます。</p> <p>T 2 : 次に子どもです。欲しい子どもの数だけ、○をつけます。二人の場合は、○○です</p> <p>T 1 : 子どもは、将来的に3人欲しいのですが、20代では、1人産めたらいいなと考えています。</p> <p>T 2 : 次は、住居、食事、その他の所ですが、ここでは、3つの選択肢から選びます。</p> <p>T 1 : 20代で家を「購入する」ことは難しいと考えたので、「借りる」に○をします。</p> <p>T 2 : 食事は？</p> <p>T 1 : 食事は、食べるのが好きなので「グルメ」に○を</p> <p>T 2 : 次に、その他ですが、「その他」というのは服を購入するときを支払うお金、生活にかかる光熱費、電車やバスに乗った時やスマホを買ったり使ったりする時に支払う交通通信費などのことをいいます。</p> <p>T 1 : これも、もちろん、「ぜいたく」にしていきたいと考えています。</p> <p>T 2 : では、家族構成は、何人になりますか？(生徒も一緒に)</p> <p>T 1 : 3人</p> <p>T 2 : 次に、収入について、記入していきます。</p> <p>「収入と税金」と書かれている表のA~Dの中で私と配偶者の職業・働き方を決めます。配偶者とは、結婚相手のことです。A~Cの生涯の年収合計は1億5,300万円と</p>

変わりありません。しかし、職業や働き方に違いがあります。

Aは一日中働きます。通常収入はあまり多くはないのですが、退職金があります。

この働き方は、公務員や会社員などがそうです。

Bも一日中働き、通常収入が多いです。しかし、退職金がありません。

この働き方は、自営業の人などがそうです。

Cは野球選手やサッカー選手、タレントなど、20代、30代までの若い間の収入はとて多いのですが、40代以降の収入が少なくなります。

Dは、パートやアルバイトといった働き方です。

EとFは60代の時にしか選ぶことができないので、20代～50代では選ばないでください。さあ、どの働き方にしますか

T1：私は、教員をしたいので「A」

T2：Aの20代の収入はいくらですか？（生徒：2800万円）

T2：では、結婚しているので、相手の人、旦那さんや奥さんの働き方は？

T1：旦那さんは、お店屋さんの人が良いので「B」にします。

T2：Bの20代の収入はいくらですか？（生徒：3050万円）

それぞれの収入を足すと、合計は？（生徒：5850万円）

T2：続いて、支出をみていきます。

まずは、税金です。税金も働き方によって違います。

「A」の働き方の20代の税金は？（生徒：「220万円」）

配偶者の「B」の働き方の20代の税金は？（生徒：「250万円」）

それぞれの、税金を足すと？（生徒：「470万円」）

T2：次からは、表の裏を見てください。

次の生活費は、ライフプランで計画した通りに表にある数字を記入します。

まず、表の「支出に関わる選択肢②」の教育費をみてください。

20代で1人子どもを出産したので、子育て費用は？（生徒：205万円）

その表の30代では、20代で出産したこどもの費用は590万円となり、40代では200万円となっています。50代は数字が記入されていませんが、ここで先ほど話していたサイコロを使います。20代で出産した子どもは50代になると大学や専門学校などへ進学していくことが考えられます。

その子ども将来についてサイコロをふり、出た目の数と表に書かれている内容を基に、50代の子育て費用が決まります。（この部分は、時間に応じて、割愛。その場合は、「20代で産んだ子どもが、50代になると、大学や専門学校に行くこととなります。その場合については、個別にお話しますので、声をかけて下さい。」）

何度も言いますが、今日は必ず30代までは計算してくださいね。

次に、「支出に関わる選択肢①」の表を参考に記入していきます。

住居は、「借りる」だったので、（生徒：「720万円」）

食費は、「グルメ」でしたよね。表を見ると食費は、「独身」「片働き」「共働き」の3

つあります。今回は二人で働いているので、「共働き」の「グルメ」だと（生徒：「1,500万円」）

その他も、「共働き」の「ぜいたく」だったので（生徒：「2,200万円」）

次に、結婚・自動車・旅行等のライフイベントの3つについて考えます。

ここでも、表の中にある「選択可能なイベント」の中からそれぞれ1つずつ選びます。結婚式はどうしますか？

T 1：結婚式は「盛大」にしたいので「650万円」

T 2：自動車は？

T 1：自動車は「一般的な」の「450万円」。

T 2：自動車の金額には、ガソリン代や駐車場代、修理や点検などにかかる費用が含まれています。同じ自動車を何十年も乗ることは難しいので、10年に一度買い替える必要があります。みなさんも30代に進んだときに、もう一度選択しなおしてください。

T 2：旅行については、どうでしょうね。

T 1：旅行は、海外へ行きたいので「海外旅行」の「1,000」万円。

T 2：最後に、人生はどんなことがおこるかわかりません。そこで、先ほど話した（輪ゴムで束ねられた）イベントカードのうち1枚だけ、見えないようにして引きます。その引いたカードに書かれた金額を記入します。（T 1 イベントカードをひく。）

T 1：イベントカードは「火事の500万円」でした。

T 2：では、税金からここまでかかった支出合計をしましょう。収入合計から、支出合計を引いたものが、次の繰越金となります。

これで、20代の人生が終わりです。ここで20代の人生にかかったお金について見直し、考えて30代へと進んでください。今日は、30代までは、全員が計算できるようにするのでしたね。30代まで、できた人はその先、できるところまで進んでみてよいですよ。

T 1：では、今から、15分間でやってみましょう。（説明が早く終われば、20分でもよい。）

—15分経過後、様子を見て、後3分程度追加も可—

T 1：ライフプランの記入をやめて、カードなどを片付け、ワークシートの①に、気が付いたこと、考えたことを記入してください（3分）

（全体交流）

T 1：では、やってみて皆さんが気付いたことや考えたことを交流しましょう。

—生徒の意見を聞き、ポイントなるところを板書する。—

T 1 : 子どもたちは、このように考えたようですが、講師の先生は、今のような意見を聞いて、どう思われましたか？

T 2 : (板書を見ながら、解説)

- ・大きな買い物（家、車）などは、買う時期（収入に応じて）を考える事が重要。
- ・節約出来ないお金（税金、子育て）などがある。
- ・今のことだけでなく、突然のトラブルや将来の生活を考えて、少しゆとりをもつように考えられるとよい。
- ・節約ばかりではなく、楽しみもないと生活できない。
- ・自分の体験から一言

T 1 : では、仲間との意見交流や今の講師の先生のお話を聞いて、これからの自分の生活の仕方やお金の使い方について考えていきたいことをワークシートの②にまとめましょう。

—全体交流—

T 2 : (感想を捕えながら) 家の人みんな、毎日同じように考えながら、生活していると思います。

今日の学習を、ぜひ、これからの生活に活かしてください。